

■米国：PJM、容量市場の見直し提案の認可申請を FERC に提出

地域送電機関の一つである PJM は 2018 年 4 月 9 日、連邦エネルギー規制委員会 (FERC) に対し、容量市場の見直しを求める提案書を申請した。提案書は、州の政策による支援を受けている電源(原子力や再エネ)を、競争的容量市場でどのように取り扱うべきかを FERC に問いかけるもので、この対策案として PJM は、(1) 容量オークションを 2 段構えにすることにより、市場の競争環境をゆがめることなくこれら電源を容量市場に参加させる仕組み (Capacity Pricing) と、(2) これら電源が容量市場で入札する際に州の補助金などの影響を排除するための入札下限ルール (MOPR) の拡大、の 2 つを提案している。PJM は FERC に対し、2018 年 6 月 29 日までの判断を求めており、2019 年 1 月の送電料金改定を経て PJM は、新しいルールを 2019 年 5 月に予定されている容量オークションに反映できるとしている。